



ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日の患者さんはどのような悩みを抱えているのでしょうか。おや、どうやら今日は外国からお見えのようですね・・・

患者 A 「こんにちは。私は、中国で定番の SNS アプリです。単なる SNS だけではなく、買い物・飲食・タクシーなど、ほぼ全ての場面で決済手段としても使われているので、中国では私が無いと生きていけない、とすら言われるほどです。最近では、中国に旅行などで来られる外国の方にも多く使っているのですが、なぜか日本の方からだけ『大事な相手に限って新着メッセージの通知が届かずに大変な目に合った』という苦情が寄せられることが多くて困っています」

Dr. N 「うーん、ちょっと診せてもらえますか？」

患者 A 「はいどうぞ (図 1)」



図 1 通知は ON

Dr. N 「えーとこれは、それぞれの相手ごとに通知の有無などを設定できるようになっているわけですね」

患者 A 「はい。ユーザーさんが言うには、特に重要な人なので、連絡を確実に受け取るために わざわざ『オン』にしたら、以後の通知が来なくなった、とのことです」

Dr. N 「あれ？ このアプリ、もとは中国語で作られたものですよ、ちょっと原語版を見せてもらえますか？」

患者 A 「はい、これです (図 2)」

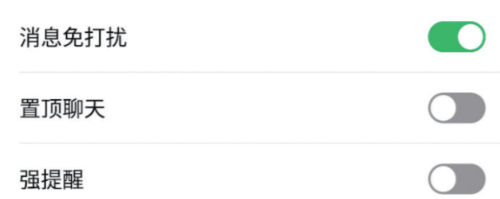


図 2 設定画面 (中国語版)

Dr. N 「えーとこれ、各国語版でスイッチの並びや意味は同じですか？」

患者 A 「はい、そうです」

Dr. N 「消息免…すみません。字の並びからすると何かおかしい感じはするのですが、中国語が読めないので英語版はありますか？」

患者 A 「それではこちらをどうぞ (図 3)」

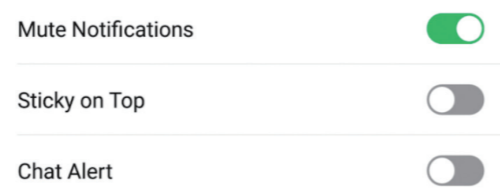


図 3 設定画面 (英語版)

Dr. N 「やっぱり！ 原語版と英語版は正しく『通知を消す』になっていますが、何故か日本語版だけ『通知』になってしまっています。おまけにオンにした時に緑で強調されるので『オンにすれば通知が【出る】』と逆に解釈してしまいがちです」

患者 A 「えっ？ 日本語だとそういう意味になってるんですか！？ だからみんな困ってたんですね。せっかく日本語版も用意したのになあ…。治してもらいます！ ありがとうございました」

Dr. N 「はい、お大事に。今後各国語版を出すときには、ネイティブの方にちゃんとチェックしてもらおうようにしてくださいね」

Dr. N 「次の方どうぞ、どうされました？」

患者 B 「私は、とある観光地の注意看板なのですが、なぜか日本のお客さんだけ私を見て笑うんです。せっかく日本語で書いたのに… (図 4)」



図 4 暖かいヒント？

Dr. N 「えーとこれ (苦笑) …」

患者 B 「あー、先生も笑ったー」

Dr. N 「おっとすみません。これは単に翻訳ミスでしょうね。温 (おん) と馨 (かおる) と提示 (ていじ) で日本語のページを検索つと…なるほどふむふむ、あー中国の『温馨提示』は、日本語では『お知らせ』とか『ご注意』と訳するのが良いっほいですね」

患者 B 「えー、そうなんですか。インターネットの翻訳サイトで調べたんですが…」

Dr. N 「翻訳サイトは、たまに妙な訳を出すことがあります。ネイティブの方にチェックして貰うのが確実ですが、難しい場合には、出てきた訳を逆向き (この場合は、日本語→中国語) に訳してみて、変な意味になっていないかどうかだけでも確認した方が良いでしょう」

患者 B 「ありがとうございます」

Dr. N 「お大事に…確かに機械翻訳は便利だけど、日本でも大阪地下鉄の『堺筋線』が『筋肉線 (Muscular Line)』になったり、東京メトロで『3両目』が『3 Eyes』になった例があるので、あまり頼りすぎるのも問題だなあ…。あ、次の方どうぞ」

患者 C 「私は、とあるビルのサインです。この先はオフィスなので入らないように注意しているのですが、外国の方が入ってきてしまうんです。わざわざアルファベットでも書いてあるんですが… (図 5)」



担当医：Dr. ナカムラ

BADUI 蒐集家。

日々新たな BADUI との出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

BADUI 図鑑「失敗から学ぶユーザインタフェース (技術評論社)」を出版。



図 5 下のピンインは誰のため？

Dr. N 「これ、ピンイン (中国語の発音をアルファベットで表記したもの) じゃないですか。そもそも上の漢字が読めない人は、下のピンインを読んでも意味がわからないでしょう。せめて英語にしませんか？」

今回の症例はいかがでしたか？ 読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください (下のカルテに一例を載せています)。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。

Dr. トモクフの UI トリビア

アプリやコンテンツを海外展開する場合、翻訳以外にも社会慣習などの違いからくるタブーの扱いにも注意が必要じゃ。また、キャラクターや商品の名前を決める際にも、「そのコトバが外国で変な意味を持っていない」ことを調べておいた方が良いぞ (日本車の名前が海外では違う原因のひとつがこれ。気になったら調べてみよう)。

診療カルテ		
ID	BADUI-32	2019/12/13
氏名	你好，我们是中国人机界面	中国からいらした患者さん達
原因・主要症状・経過など	中国語からの翻訳ごの模様というが、 ・「非通知設定が通知設定」と誤訳されており、重要メッセージを非通知に「おとしり」。 ・意味がわからない笑えるものに ・不要な発音が提示されている	・日本人が通知の設定を可すると通知が来なくなる SNS サービス ↳ 「通知を消す」を「通知」と誤訳してこのことが原因 ・日本人が見ると可。と笑ってしるう看板 ↳ 「お知らせ」を「暖かいヒント」と機械翻訳したのが原因
処方・手術・処置など	ネイティブチェックをしてもらい。翻訳ミスなどを修正可！ ・通知 → 通知を消可 ・暖かいヒント → お知らせ ・発音 → 英語に変更	・「侵入禁止」と案内している入ってきたしるう建物サイン ↳ アルファベット表記が「はせか」発音に… ネイティブチェックは重要!! 機械翻訳取得ときは逆向きチェック
		中村 聡史 (明治大学)